

南阿蘇鉄道高森駅周辺地区都市再生整備計画事業

熊本県高森町／令和6年グランドオープン

南阿蘇鉄道高森駅周辺地区都市再生整備計画事業は、平成28（2016）年熊本地震で大きな被害を受けた南阿蘇鉄道の復旧を契機に、高森町が主導して進めた都市再生整備計画事業です。熊本地震からの「創造的復興」を掲げ、熊本県支援の「くまもとアートポリスプロジェクト」による公募を経た「グランドデザイン」に基づき再整備されました。

被災鉄道の復旧にとどまらず、鉄道駅を核とした地域再生として「地域の交通」「防災」「観光振興」を一体的に捉え、町が駅周辺の民間土地を取得して機能を再配置、駅そのものを広場化することで魅力ある交通結節点を形成しています。鉄道復旧と駅周辺再整備の相乗効果により、観光客数は被災前の水準を上回り、南阿蘇鉄道も全国的に数少ない黒字収支のローカル線となりました。

駅前通りは無電柱化により防災性の向上と良好な景観形成を図り、駅舎、交流施設、回廊、塔が芝生広場を囲むように配置され、雄大なカルデラに落ちる夕日が眺望できる唯一無二の駅となっています。

事業概要

所在地	熊本県高森町大字高森
土地面積	約 8,552 m ²
事業主体	高森町
管理運営主体	南阿蘇鉄道株式会社（列車の運行）、（一社）南阿蘇鉄道管理機構、（一社）高森観光推進機構
主要施設	駅舎、交流施設、芝生広場、ロータリー・駐車場、鉄道施設の一部（プラットフォーム等）
事業スキーム	国庫補助金（社会資本整備総合交付金および地方創生拠点整備交付金）、ふるさと応援寄附金（個人および企業）

取組のポイント

- 「地震からの復興」に際し、鉄道の復旧にとどまらず駅周辺にあった民間所有の空き店舗や農協倉庫を町が取得、既存の公園・商工会事務用地等と合わせて駅周辺の機能を再編。交流施設、芝生広場、公民館、スポーツクラブ事務所等を配して教育施策等と連携させ「駅そのものを広場化」しています。
- 敷地両端のダブルロータリーを構内道路と回廊で繋ぎ、回廊沿いには災害時の車中泊に対応できる駐車場が配置されています。
- 駅そのものを広場化することで魅力ある交通結節点を実現するとともに、ロータリーの一部に観光バス駐車区画を設け、また従来駅から離れていた長距離バス乗り場を駅前に移すことで、広域観光ルートの拠点機能も高めています。
- 駅舎を（一社）南阿蘇鉄道管理機構、交流施設および芝生広場を（一社）高森観光推進機構が指定管理者として管理し、高森町を交えた協議を定期的に行い、一体感のある施設運営を行っています。交流施設にはカフェが併設され、地域住民が参加するイベントも活発に行われており、地域に欠かせない施設となっています。

